

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	スポーツ振興課	職	課長	氏名	片山 達也
評価者	組織		職		氏名	

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策1	生涯スポーツの普及・振興	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会参加者数(単年度)	人	400,000 (H32)	351,845 (H28)	(H29)	
施策2	競技スポーツの充実・強化	スポーツ指導者(有資格者)数	人	3,000 (H32)	2,514 (H28)	(H29)	

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題		成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
						(年度)	(年度)						
施策1	課題1	生涯スポーツ活動の推進	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会参加者数	人	400,000 (H32)	351,845 (H28)	(H29)	1	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会開催事業	県民	10,000		
								2	県民総スポーツ推進事業	県民	4,023		
	課題2	総合型地域スポーツクラブの創設を支援	総合型地域スポーツクラブ創設市町数	市町	19 (H32)	13 (H28)	(H29)	3	広域スポーツ支援センター事業	県民	2,926		
施策2	課題1	競技力向上対策	スポーツ指導者(有資格者)数	人	3,000 (H32)	2,514 (H28)	(H29)	4	選手強化事業	強化指定選手	192,900		
								5	高等学校運動部活動強化指定事業	指定運動部	20,000		
								6	中学生強化事業	中学選抜選手	7,500		
								7	科学的トレーニング特別強化事業	強化指定選手	2,500		
							8	ふるさと選手タイアップ強化事業	強化指定選手	4,500			

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会開催事業	事業開始年度	H4	事業終了予定年度	
		根拠法令	石川の教育振興基本計画		
		・計画等			

作	組	織	スポーツ振興課		
成	職	氏名	課長補佐 武田 孝伸		
者	電	話	番	号	076 - 225 - 1392 内線 4381

事業の背景・目的

本県では過去2回(2011年、2015年)、競技志向の高いシニア世代の祭典として日本スポーツマスターズ大会を開催し、生涯スポーツの振興に寄与している。日本スポーツマスターズ大会によって醸成された、生涯スポーツの気運の高まりを継承し、本県の生涯スポーツの振興を図るとともに、広く県民がスポーツ・レクリエーション活動を楽しみ、その活動を通じて交流を深めるとともに、明るく生き生きとした県民生活の一層の充実をめざす。

事業の概要

- 1 主 催 石川県
- 2 期 日 平成29年5月～6月(中心開催期間)
- 3 参加者数 約26,000名
- 4 内 容

- (1) 総合開会式および著名な講師によるスポーツ交流教室
 - 会 場： いしかわ総合スポーツセンター
 - 参加団体： 種目団体(約1,000名)、市町参加者(約1,000名)
 - 内 容： 開会宣言
大会長(知事)あいさつ
選手宣誓
アトラクション(手取亢龍若鮎組、Heart Of One)
(総合開会式終了後)
知事と種目団体とのスポーツ交流
スポーツ教室教室
種目別大会(ふれあいドッジボール大会、エアロビック大会)
健康づくりプログラム(運動能力測定等)
- (2) 種目別大会(場所・期日は未定) グラウンドゴルフ他43種目
大会活性化のための取り組み(トップ選手との交流、初心者向けの体験会等(10種目団体))
- (3) ニュースポーツ体験広場・協賛大会
 - 開 催 地： 開催希望市町および総合型地域スポーツクラブの設立されている地域
 - 主管団体： 市町スポーツ担当および総合型地域スポーツクラブ(13クラブ)
 - 実施種目： ニュースポーツ体験、親子スポーツフェスティバル、スポーツ講演会など

施策・課題の状況						
施策	生涯スポーツの普及・振興				評価	
課題	生涯スポーツ活動の推進				評価	
	指標	いしかわスポーツ・レクリエーション交流大会参加者数			単位	人
	目標値	現状値				
	平成32年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	400,000	304,359	318,967	334,271	351,845	

事業費						
(単位:千円)		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	予算	5,075	5,075	5,075	10,000	10,000
	決算	4,870	5,024	4,676	9,655	
一般	予算	2,002	2,984	2,666	7,591	7,591
財源	決算	2,002	2,984	2,666	7,246	
事業費累計		207,377	212,401	217,077	226,732	236,732

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性(費用対効果の観点も含め、この事業が問題解決に役に立ったか)		
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	県民総スポーツ推進事業	事業開始年度	H17	事業終了予定年度		作 組 織	スポーツ振興課	
		根拠法令 ・計画等	石川の教育振興基本計画			成 職・氏名	課長補佐 武田 孝伸	
							者 電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4381

事業の背景・目的
 今後も、県民一人ひとりが、継続的な運動やスポーツを通じて体力向上を図り、健康で明るく活力あふれる生活を送ることができるよう、生涯スポーツ推進を図る。

- ・いしかわ302スポーツ運動
 日常生活の中で、継続的な運動やスポーツを習慣づけることにより、県民の体力向上を図り、健康で活力あふれる生活の実現に寄与する。
 30分以上の運動を週2回以上、継続して行う習慣を身につける。
 (1日2km以上のランニングやウォーキング、又は30分以上の運動を、週2回以上継続して行
- ・スポーツ推進審議会の開催
 設置目的: スポーツ振興に関する事項について、審議・協議し、県に答申等を行う。
 設置年月日: 昭和37年4月1日
 設置根拠: 石川県スポーツ推進審議会条例
 委員構成: 15名(任期2年) 等

施策・課題の状況							
施策	生涯スポーツの普及・振興					評価	
課題	生涯スポーツ活動の推進					評価	
	指標	現状値				単位	人
	目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
	400,000	304,359	318,967	334,271	351,845		
事業費							
	(単位: 千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
事業費	予算	6,694	11,374	6,574	6,353	4,023	
	決算	6,595	11,238	6,310	6,186		
一般財源	予算	6,694	11,374	6,574	6,353	4,023	
	決算	6,595	11,238	6,310	6,186		
事業費累計		161,677	172,915	179,225	185,411	189,434	
評価							
項目	評価	左記の評価の理由					
事業の有効性(費用対効果の観点も含め、この事業が問題解決に役に立ったか)							
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)							

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	広域スポーツ支援センター事業	事業開始年度	H16	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	石川の教育振興基本計画		

作	組	織	スポーツ振興課		
成	職・氏名	課長補佐 武田 孝伸			
者	電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4381			

事業の背景・目的

地域のスポーツ振興のための方策として、総合型地域スポーツクラブの設立を促進し、運営をサポートする。クラブ設立・運営のためにクラブマネジャーの養成やスキルアップ講習会の開催、指導・助言を行う講師の派遣を行うとともにクラブアドバイザーを配置し、クラブ訪問や相談など、きめ細やかな支援を行う。また、スポーツ情報ネットワークにより、県民へさまざまなスポーツ情報を発信する。

- 事業の概要**
- 1 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会の開催
 - 2 クラブマネジャー養成講習会
 - 3 クラブマネジャースキルアップ講習会
 - 4 クラブアドバイザー配置事業
 - 5 文部科学省等への会議出席、県内巡回指導
 - 6 スポーツ情報ネットワーク「スポナビいしかわ」の運用

これまでの見直し状況

平成16・17年度に国の広域スポーツ支援センターモデル事業を実施し、平成18年度よりは県単独事業として、広域スポーツ支援センター事業を行っている。

施策・課題の状況						
施策	生涯スポーツの普及・振興	評価				
課題	総合型地域スポーツクラブの創設を支援	評価				
	指標	総合型地域スポーツクラブ創設市町数	単位	市町		
	目標値	現状値				
	平成32年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	19	12	12	13	13	

事業費						
	(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	予算	8,361	2,465	2,465	2,374	2,926
	決算	8,298	2,351	2,425	2,246	
一般	予算	8,361	2,465	2,465	2,374	2,149
	決算	8,298	2,351	2,425	2,246	
事業費累計		43,321	45,672	48,097	50,343	53,269

評価	
項目	評価
事業の有効性(費用対効果の観点も含め、この事業が問題解決に役に立ったか)	
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	選手強化事業	事業開始年度	S38	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	石川の教育振興基本計画		

作	組	織	スポーツ健康課		
成	職	氏名	課長補佐 黒坂 昭弘		
者	電	話	番	号	
			076	-	225 - 1392 内線 4378

事業の背景・目的
国民体育大会および各種全国大会に優秀な成績を収めるため、成年・少年(中・高)強化選手を対象に強化を行う。「岩手国体」での天皇杯得点順位36位を踏まえ、短・中期的な計画のもとさらなる上位入賞、国体開催以外の各競技の組織及び選手強化を図る。

事業の概要

1 選手強化事業
(1) 目的 国民体育大会で実施される41競技の競技力維持・向上を図るため、強化事業(合宿・遠征等)を実施。また、国体入賞に向け努力し成果が期待される競技種別に対し、重点的な強化を行う。

(2) 成年強化事業
ア 基礎強化 対象者 41競技803人(ヘッドコーチ・監督・コーチ・強化選手)
内 容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習、講師招聘等
イ 重点強化 対象者 過去2回(70,71回)の国体で実績ある競技団体
北信越大会で実績のある競技団体
内 容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習等

(3) 少年(中・高)強化事業
ア 基礎強化 対象者 38競技701人(監督・コーチ・強化選手)
内 容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習等
イ 重点強化 対象者 過去2回(70,71回)の国体で実績ある競技団体
北信越大会で実績のある競技団体
内 容 県内合宿、県外合宿、招待試合、日帰り練習等

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの充実・強化				評価	
課題	競技力向上対策				評価	
	指標	スポーツ指導者(有資格者)数			単位	人
	目標値	現状値				
	平成32年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	3,000	2,066	2,138	2,437	2,514	
国民体育大会	目標	20位台前半	同左	同左	同左	
総合順位	実績	16	29	36		

事業費					
(単位:千円)					
	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費 予算	190,200	190,200	190,200	192,900	192,900
事業費 決算	190,200	190,200	190,200	192,366	
一般 予算	190,200	190,200	190,200	192,900	192,900
財源 決算	190,200	190,200	190,200	192,366	
事業費累計	6,176,571	6,366,771	6,556,971	6,749,337	6,942,237

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性(費用対効果の観点も含めてこの事業が問題解決に役に立ったか)		
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県間与のあり方を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

備考 期 間 平成29年4月1日～平成30年3月31日

2 一貫指導ジュニア育成事業
(1) 目的 作成した一貫指導プログラムを基にジュニア競技者の育成を図り、競技力向上につなげる。
(2) 対象 指定6競技団体 ボウリング、ホッケー、ボクシング、山岳、銃剣道、なぎなた

3 体育団体組織強化事業
(1) 目的 国体開催以外の各競技の組織及び選手強化事業を実施
(2) 対象 15団体
綱引連盟、少林寺拳法連盟、オリエンテーリング協会、ゲートボール協会、パワーリフティング協会、グラウンドゴルフ協会、武術太極拳連盟、パイアスロン連盟、マレットゴルフ協会、パークゴルフ協会、障害者スポーツ協会、バウンドテニス協会、ボールルームダンス連盟、ダンススポーツ連盟、バトン協会

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	高等学校運動部活動強化指定事業	事業開始年度	H4	事業終了予定年度		
		根拠法令	石川の教育振興基本計画			
		計画等				

作成者	組織	スポーツ振興課				
	職・氏名	課長補佐 黒坂 昭弘				
	電話番号	076 - 225 - 1392 内線 4378				

事業の背景・目的
 全国高体連が主催または共催する全国大会等で優秀な成績を収めるため、選手育成の拠点となる県内高等学校運動部等を指定し、強化を推進するとともに、重点強化選手の指定により、集中的な強化を図る。

事業の概要
 1 指定期間
 平成29年4月1日～平成30年3月31日
 2 指定方法
 県高体連会長が指定基準を満たす運動部を推薦し、県民文化スポーツ部で審査の上、県民文化スポーツ部長が指定

3 指定基準
【強化指定事業】
 <団体>
 A指定
 平成27年度、28年度いずれも、全国大会で団体8位以内の入賞実績があること
 B指定
 平成27年度、28年度のいずれかで、全国大会で団体ベスト16位以内の実績があること
 C指定
 平成29年度の北信越高校体育大会で優勝の実績があること
 <個人>
 A指定
 平成27年度、28年度のいずれかで、全国大会で4位以内の入賞実績があり、平成29年度に当該校に在籍していること
 B指定
 平成27年度、28年度のいずれかで、全国大会で8位以内の入賞実績があり、平成29年度に当該校に在籍していること
 <駅伝強化>
 平成29年度 全国高校駅伝大会出場資格を有すること

【重点強化事業】
 別途指定した競技の中から、県民文化スポーツ部と県高体連が協議の上、重点強化選手を指定

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの充実・強化					評価
課題	競技力向上対策					評価
	指標	現状値				単位
	スポーツ指導者(有資格者)数					人、団体数
	目標値	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	3,000	2,066	2,138	2,437	2,514	
強化対象競技数		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
		27	29	28	25	
事業費						
	(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	予算	17,500	20,000	20,000	20,000	20,000
	決算	17,500	20,000	20,000	20,000	20,000
一般	予算	17,500	20,000	20,000	20,000	20,000
財源	決算	17,500	20,000	20,000	20,000	20,000
事業費累計		550,000	570,000	590,000	610,000	630,000

評価		
項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性(費用対効果の観点も含めてこの事業が問題解決に役に立ったか)		
今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	中学生強化事業	事業開始年度	H5	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	石川の教育振興基本計画		

作	組	織	スポーツ振興課		
成	職	氏名	課長補佐 黒坂 昭弘		
者	電	話	番	号	
			076	-	225 - 1392 内線 4378

事業の背景・目的

全国中学生大会等において優秀な成績を収めるとともに、将来、国民体育大会少年の部選手、成年の部選手として活躍できるように、計画的に強化育成し、競技力の向上を図る。

事業の概要

- 1 強化事業
 - (1) 実施競技
県中学校体育連盟に加盟の18競技
 - (2) 対象
県中学校体育連盟各専門部で選考した体力・技術面に優秀で、県中学校体育連盟会長の承認を得た者
 - (3) 内容
県中学校体育連盟各専門部が、強化合宿、強化練習等を計画・実施
 - (4) 経費
県中学校体育連盟各専門部が実施する強化合宿、強化練習等に要する経費の一部を予算の範囲内で助成
- 2 重点強化事業
 - (1) 実施競技
重点強化競技に指定した5競技
 - (2) 対象
将来、国民体育大会等で中心選手として活躍が期待出来る選手で、競技団体及び中学校体育連盟各専門部が選抜した者
 - (3) 内容
科学トレーニングの活用および競技団体のハイレベルな指導力を有する指導者と県中学校体育連盟各専門部が連携し、強化合宿、強化練習等を計画・実施
 - (4) 経費
科学トレーニングや競技団体と県中学校体育連盟各専門部が実施する強化合宿、強化練習等に要する経費の一部を予算の範囲内で助成

施策・課題の状況

施策	競技スポーツの充実・強化	評価	
課題	競技力向上対策	評価	
	指標	スポーツ指導者(有資格者)数	単位 人
	目標値	現状値	
	平成32年度	平成25年度	平成26年度
	3,000	2,066	2,138
		平成27年度	平成28年度
		2,437	2,514
北信越総体	目標	34	34
優勝数	実績	19	13
		21	

事業費

	(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	予算	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
	決算	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
一般	予算	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
	決算	7,500	7,500	7,500	7,500	7,500
財源	事業費累計	128,134	135,634	143,134	150,634	158,134

評価

	項目	評価	左記の評価の理由
	事業の有効性(費用対効果の観点も含めてこの事業が問題解決に役に立ったか)		
	今後の方向性(県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名	科学的トレーニング特別強化事業	事業開始年度	H20	事業終了予定年度	
		根拠法令 ・計画等	石川の教育振興基本計画		

作	組	織	スポーツ振興課		
成	職	氏名	課長補佐 黒坂 昭弘		
者	電	話	番	号	
			076	-	225 - 1392 内線 4378

事業の背景・目的

国民体育大会をはじめとする全国大会や国際大会等において、優秀な成績を収めるため、科学トレーニング機能の有効活用により競技力の向上を図る。

事業の概要

- 1 対象 競技団体が推薦する成年・少年強化選手100名
- 2 内容
 - (1) 講師招聘による研修会
 - (2) 基礎体力測定
 - (3) 専門測定・分析
 - (4) トレーニング処方作成・提示
 - (5) トレーニング実践指導
 - (6) 国立スポーツ科学センター(JISS)との連携

※年2回、基礎体力測定・専門測定を実施し、トレーニング処方を作成
 ※トレーニング処方に基づいた専門指導の実施、コントロールテストの実施

- (7) アスレティックトレーナー活用によるコンディショニング指導

※強化練習、合宿時に怪我をしない体づくりの指導、スポーツマッサージ等
 ※競技者の健康管理、及び怪我をしない体づくりを目指したトレーニングメニューの計画・立案・指導

3 会場 いしかわ総合スポーツセンター

4 期間 平成29年4月1日～平成30年3月31日

施策・課題の状況

施策	競技スポーツの充実・強化	評価
課題	競技力向上対策	
指標	スポーツ指導者(有資格者)数	単位 人
目標値	現状値	
	平成25年度	平成26年度
	平成27年度	平成28年度
	平成29年度	
	3,000	2,066
	2,138	2,437
	2,514	

事業費

(単位:千円)	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費 予算	2,000	2,000	2,700	2,500	2,500
事業費 決算	2,000	2,000	2,700	2,500	2,500
一般 予算	2,000	2,000	2,700	2,500	2,500
財源 決算	2,000	2,000	2,700	2,500	2,500
事業費累計	17,040	19,040	21,740	24,240	26,740

評価

項目	評価	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)		
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)		

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名 ふるさと選手タイアップ強化事業	事業開始年度 H28	事業終了予定年度 H29	作成者 組織 スポーツ振興課 職・氏名 課長補佐 黒坂 昭弘 電話番号 076 - 225 - 1392 内線 4378
	根拠法令・計画等 石川の教育振興基本計画		

事業の背景・目的

国民体育大会で特に入賞が見込める競技においては、ふるさと選手により戦力を充実し、本大会の入賞につなげ、天皇杯順位20位台以内を安定的に確保することが必要である。そのためには当該選手の所属団体と計画的な交渉を実施し、確実にふるさと選手の獲得を実現させる。

事業の概要

1 内容 (1) 得点獲得が有望なふるさと選手(一般・大学生)の活用事業
 ・ふるさと選手と地元選手の合同合宿の補助

(2) 対象:ふるさと選手(一般・大学生) 20名程度

2 会場 各練習会場

3 期間 平成28・29年の2年間(福井国体前まで)

※ふるさと選手制度 ・成年種別の選手は、居住地を示す現住所、勤務地、ふるさと(卒業中学校又は、卒業高等学校のいずれかの所在地に属した都道府県)から国体出場できる。
 ・制度を活用し、参加を希望する選手は「ふるさと」登録する。
 ・一度登録した「ふるさと」は変更することができない。

施策・課題の状況						
施策	競技スポーツの充実・強化					評価
課題	競技力向上対策					
	指標	スポーツ指導者(有資格者)数			単位	人
	目標値	現状値				
		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
	3,000	2,033	2,600	2,138	2,514	
国民体育大会	目標	20位台前半		同左	同左	同左
総合順位	実績	16		29	36	
事業費						
(単位:千円)		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業費	予算				4,500	4,500
	決算				4,500	
財源	予算				4,500	4,500
	決算				4,500	
事業費累計		0	0	4,500	9,000	
評価						
項目	評価	左記の評価の理由				
事業の有効性 (費用対効果の観点も含めこの事業が問題解決に役に立ったか)						
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)						